



# みなみっ子



令和6年8月29日(木)

南城市立大里南小学校

文責 校長 竹下晴康

学校教育目標

〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

第8号

## 2学期がスタートしました。—2学期始業式校長講話要旨—

今日からの2学期のスタートにあたり、みなさんに向けて1つだけお話をします。

今年はパリでオリンピックが開かれました。皆さんの中にも熱心に応援した人がいるかと思います。競技の結果は人それぞれでした。自分の満足のいく競技演技のできた人そして、メダルと取った人、残念ながらそうではなかった人。毎日たくさんの選手のコメントが報道されました。そういった中で、校長先生はある選手のコメントが印象的でした。それは柔道の阿部一二三選手です。金メダルを取ったときの阿部選手の言葉をそのまま紹介します。

「辛いこと、しんどいことたくさんあると思うんですけど、僕は「努力は天才を超える」っていうのは自分の座右の銘でやらせてもらっているんですけど、絶対に無駄な努力ってないと思いますし、もし何かが出来なかったとしても、その努力してきたことっていうのは絶対に無駄にはなってないと思うので、やり続けることっていうのは大切だと思うので、努力はしてほしいというか、努力は裏切らないと思っています。」

阿部選手は、これまで「努力」という言葉を大切に日常生活を積み重ねて、「弱い自分に甘えてしまうことなく、目標を目指して努力し続ける強い気持ち」の大切さと「たとえ結果がでなくてもそれは無駄ではなく、心の成長があること」を、オリンピックを通して私たちに教えてくれました。

人は誰もが「弱い自分」をもっています。では、みなさんにとって、「弱い自分」とはどんな自分でしょうか？例えば・・・

- ・ つい、宿題をあとまわしにしちゃうなあ
  - ・ いつまでもゲームを続けちゃうなあ
  - ・ 決めたことが続かないなあ
  - ・ 友だちにやさしい言葉で話せないなあ
  - ・ 苦手なことをすぐあきらめちゃうなあ
  - ・ 授業中おしゃべりしちゃうなあ
  - ・ 廊下もつい走ってしまうなあ
- など人それぞれあるかもしれませんね。

今日から始まった2学期は、一年で一番長く、大きな学校行事もたくさんあります。みなさんが、「弱い自分」に甘えてしまうことなく、目標を目指して努力しようとする「心」をもって、自分に挑戦してくれるとうれしいです。そして「そして「結果」よりも、その目標に向かって頑張っている「途中（過程）」を大切にしてほしいと願っています。努力で得られるものは「結果」だけではなく、人としての「成長」だと思っています。努力をとおして、皆さんの心が成長することを期待しています。

### 3つの「あ」

2学期も引き続き取り組んでいきます。

あんしんして、

生活できる学校

あんぜんに、

生活できる学校

ありがとうの言葉  
がたくさんの  
あたたかい学校

## 環境整備作業ありがとうございました。—PTA企画夏休み学校清掃イベント「宝探し×ゴミ拾い」—

8月25日(日)にPTAボランティアの皆さんが、2学期に向けて学校の環境整備をしてくださいました。当日は「草刈り作業」と「草刈りやゴミ拾いをしながらコインを探しお宝(お菓子)と交換するイベント」を組み合わせた新しい取り組みとなりました。大人20人以上、子供たちも40人程参加して下さり、とても充実したイベントとなりました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。

